

京都市「学校教育の重点」
 一人一人の子どもを徹底的に大切に
 子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律し、協働する力」を高める

OGGT小中一貫教育の目標
 未来に輝く小中一貫コミュニティ・スクールの創造
 「生きて働く読解力」の育成

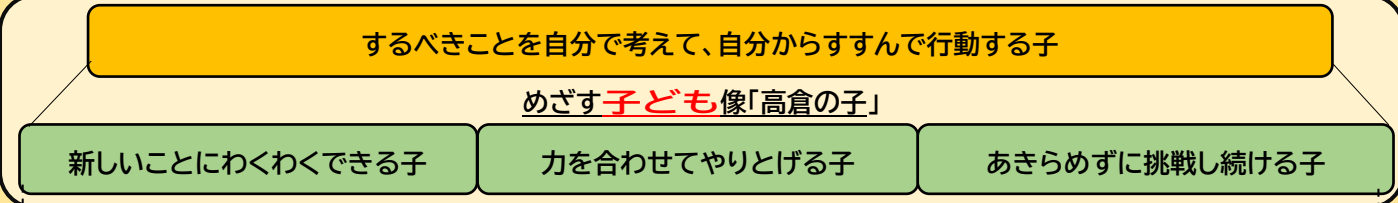
校訓 探求(Think) 協働(Integrate) 前進(Progress)



学校教育目標
 問いをもち 力を合わせ 未来へ進む 高倉の子
 ~豊かに学び表現し 高め合う姿をめざして~



- 学校経営方針(5つのC)**
- ◆Change(変化・更新) 社会の変化を前提に、指導観・指導方法・価値観を固定せず、更新し続ける姿勢
 - ◆Care(配慮・理解・尊重) 一人一人の子どもを「現象」ではなく「背景」まで含めて理解しようとする姿勢
 - ◆Collaboration(協働・連携) 協働と連携を常に意識し、チームとして知恵と責任を分かち合う姿勢
 - ◆Challenge(挑戦) 現状維持ではなく、失敗を恐れず、教育の可能性を信じて一歩踏み出し続ける姿勢
 - ◆Confidence(自信・信頼) 子どもと教師、双方向の信頼をもとに「できる」「大丈夫」という感覚を育てる姿勢



育成を目指す資質・能力 「主体性」「コミュニケーション力」

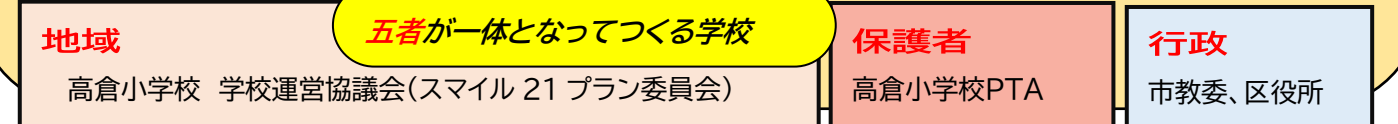
R8の取組重点 ~ 知・徳・体を一体的に育む ~

学びづくり 「知」	心づくり 「徳」	体づくり 「体」
<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善「子どもが学ぶ」授業へ 授業改善に生きる評価の研究 自己調整力に焦点をあてて ○自学自習の習慣化 主体的に学ぶ家庭学習へ (チャレンジタイムの活用) ○学習規律の徹底 ○基礎基本の定着 チャレンジタイム・家庭学習の充実 ジョイプロ週間・毎日プリントの継続 ○ICTの効果的な活用 ○デジタル・シティズンシップ教育の推進 ○個に応じた指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別活動の充実 児童会・委員会・児童集会、学活 たてわり・異学年交流・つなプロ →自己有用感を育てる 次の5年間に向けた取組 ○発達支持的生徒指導 実践上の4つの視点 →自己指導能力の育成 ○たかくら 5つの「あ」 規範意識を育てる あいさつ 丁寧な言葉遣い ○本物の体験 感性を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力向上の推進 運動課題を意識した授業づくり 日常的な体力づくり スマイルとの連携も みんな遊び ○健康教育の充実 健康の日の指導内容の充実 ○望ましい生活習慣の確立 メディア→チャレンジ ○食育の充実 ○安心・安全な学校づくり 危機管理マニュアルの改訂 HANA モデル訓練の実施

教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の実現に向けたKYOTO×教育DXビジョンの推進(~R8)
 全ての子どもが自らの可能性を最大限発揮できる、新しい教育の創造

めざす教職員像

- いつも積極的に主体的に学ぼうとする姿勢
- いつも相手意識をもって人を大切にする感性
- 新たな知や価値観を探究し創造し続ける能力
- かけがえない命と一生を大切に育む精神



子どもが主役、子どもが「自ら」学ぶ学校、子どもがつくりたい学校に(子どもの考えを中心に)